

『今度はこれ、だあ～～～!!』

両乳房の先のほうを掴み上げ、乳輪を寄せ合わせる。
そしてその間に肉棒を突っ込んでこすりつけ、
うすピンク色した美しい乳輪・乳首を犯していく・・・

『これ、したかつたんだ～～～!!』
『あああ～～、乳輪・乳首ずりい♥～～～!!』

ふつくり大きな乳輪と乳首の感触を、肉棒の先でこすり味わう。

ミサには絶対にしてやりたかったことだ。

肉棒に押され、大きな乳輪はいやらしい形に変形して擦られる。ふつくり盛り上がっているが、乳輪は柔らかい！

堅くなつてゐる乳首の感触もたまらない！！

『たまんねえ、いいいい〜〜!!

まつ白な長細い巨大な砲弾が並び、
その先で旨そうに色づく乳輪と乳首が、卑猥な肉棒でこねくり動かされている。
その夢の光景と肉棒の快感で、もう出しちゃいたくなる。

『あああいいい♥♥♥~~~~~!!』
『すげえ！ こんなのがりなんだあ～～～!!♥』
『乳首と乳輪いいいい♥~~~~~!!』

乳輪・乳首ずりのあまりの感激に出しそうになつたが、ぐつとこらえた。

色々楽しみたい！！

次は深い谷間に、先つぽから縦に突つ込んでいく・・・

『ミサちゃん、今度は縦バイズリもらうねえ~~~~!!』



巨乳には欠かせない纏バイズリだ。衆々と巨根を根元まで飲み込む乳肉。巨根を全て包み込み、柔らかい乳圧で吸い付いてくる乳肉の感触。物凄い快感で肉棒全体が包まれる。



『お〜〜〜、縦バイズリ〜〜〜!!』
『きつもちいいい〜〜〜〜〜!!』
『たまんねええ〜〜〜〜〜〜〜!!』

その感触の素晴らしさも筆舌に尽くしがたいが、上から見下ろすその光景は、狂いの脳髄を殴りつける。

『あひつ～～～～～～～～!!』

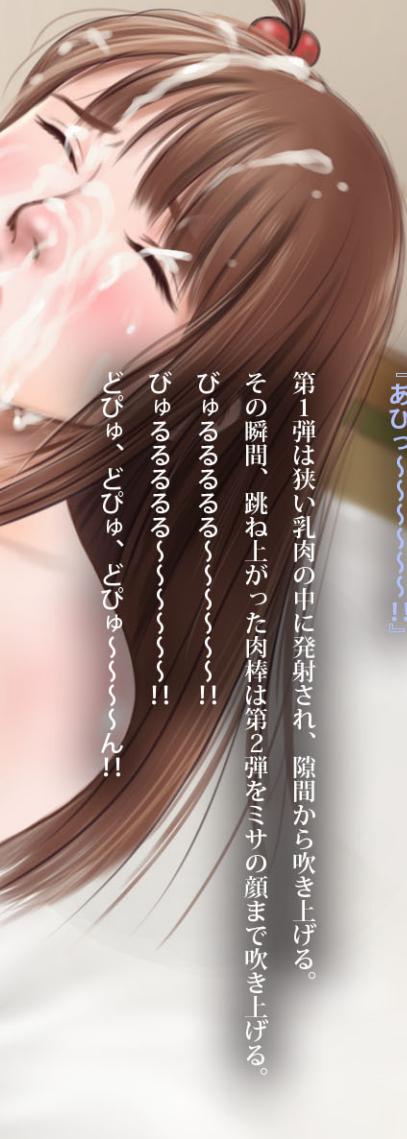
第1弾は狭い乳肉の中に発射され、隙間から吹き上げる。

その瞬間、跳ね上がった肉棒は第2弾をミサの顔まで吹き上げる。

びゅるるるるるる～～～～～～～～!!

びゅるるるるるる～～～～～～～～!!

じびゅ、じびゅ、じびゅ～～～ん!!



「あああああああ～～～～～～～～!!」

『本物のミサちゃんのおっぱいで出したあ～～～～～～!!』

『ついにこのおっぱいでやったあ～～～～～～!!』

2度目の射精だが、初回に負けない程の凄い量だ!!
顔に胸にどつぶりぶちまけられていく・・・。

ミサの乳房を妄想して、幾度せんずつてきたことか!?

この瞬間のために我慢に我慢を重ねて溜め込んできたモノを吐き出す!!!

今その夢が叶つた瞬間だ!!!

もの凄～～く気持ちがいい!! 最高の射精だ!!

何度も何度も繰り返して精子を吐き出している。

『はああ――、気持ちいい～～～～!!』

再び口にねじ込み、残りの痙攣で口の中にも注ぎ込む…

ひな
持ちいし

ひな

ビ
ビ
ビ
ビ

ドロ ビロ

『ああ～～ミサちゃん、最高のお乳だよ～～!!』

『すっごい気持ちいいよお～～!!』

しゃぶらせながらまた手を伸ばし、

鷺掴みにした乳房を揉み込んでいる…。

本当に乳好きだ。

『最高だああ～～～～!!』

『おじさん、幸せえ～～～～!!』

団扇 高だま やきやぬ
おせらせる ひ

ミサの身体に我慢ができなくなつて押し倒しすと、
その胸を両手で掴んでしゃぶり付いていく…

『いやあくく・・・』

『もうやめてえ・・・』

ベロベロ
ベキヤ
ベキヤ！

お
乳

根元から掴み上げると、
とんがりそびえ立つ見事な乳房だ。
おやは切ない顔つきで先端の色づきをなめ回す。
べろべろべちゃべちゃと、
いやらしい音を立てながら味わう。

『ミサちゃんのこのお乳は

もうおじさんのモノだからね！』

『この乳輪も乳首も

全部おじさんのモノになつたんだからね!!』

『もうやめてえ、いやあああ・・・』

たまらす!「杯に頬張っていく……あむん!」

そして、じゅるじゅるちゅーちゅー吸いしゃぶる。

悦楽の表情でまた夢中になつていくおやじ。

74-
742
743

あむん

『いやあああ・・・』

ベサヒヤベサヒヤ、ベサヒヤベサヒヤ

しゃぶり付いたら離せない！と言った感じで、

食すること無く

乳狂い

ベヘヒムハヘヒム、ベヒムハベヒム

ジョーナス・ハーヴィー!!

しつこく、しつこくしゃぶり吸われながら、
しだいにミサは吐息を漏し始める…

『うふ、うふ、うふん…』

『あは・・・』

『いやあああ・・・』

!! じゅるじゅる
ちゅうじゅう
ちゅうらう

あ
うめえー

あ

『あつー!』『うふ、うふん…』

時々、思いつきり
「じゅじゅじゅ、ちゅうううううう!!」つと
吸い引っ張る。

イヤイヤともがいていた先程とは
明らかに違う反応だ。

その反応に気づくと、
さらに夢中になって舌を動かし、
舐めしやぶりまくるおやじ。



『あああーーー、いやあああああーーー!!』

手を震わせながらゆつくりパンティーを下げていく・・・

薄い陰毛の下に薄もも色の割れ目が現れてくる。
周りには全く毛がないため、可愛いクリトリスも丸見えだ。

パンティーが降ろされるにつれ、

食い込んだ布が溝から引きずり出されてくるのがいやらしい。

『ミサちゃんのオマ●コ〜〜!!』

『出・出るう〜〜〜〜!!』

『でたあああ〜〜〜〜!!』



タメタ
見下りで
くだエレ
いやアーッ：

『あああく、いやああくく!!』

素っ裸にひん剥いた美少女は、どこもかしこも美しかった。
茂みはほんの薄く、上のほうだけまばらに生えている。

股を大きく開かせ、股間を覗き込む。

アソコはシミも色素沈着もなく、
見た事もないくらいきれいだった。

さらに指で左右に広げて、全てを剥き出しにして眺める。
ひだも、蕾も、拡げて覗く奥も、
美しい薄桃色の肉が濡れてつやつやと光っている。

ギラ
ギラ

こんなきれいなオマ◎コを味わう事が出来る男もまれだろう。
ほんの一握りの幸福者だけの特権だろう！